

第 60 回 “社会を明るくする運動” 協賛

塀の中の障がい者と高齢者たち

－「共に支えあう地域社会」をつくるためには－

講師の山本氏は、著書「獄窓記」の中で知的障がいなど障がいのある人や高齢の人が罪を重ねて刑務所生活を送っている実態を明らかにされました。

こうした人たちに「福祉」は、これまで何の援助もせずに放置し、その結果、矯正施設が「福祉の代替施設」になっていると刑務所の内情を説明されています。

罪を犯した人たちが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、「共に支えあう地域社会」をつくるためには、「地域住民として何をすればいいのか」を一緒に考えることを目的として、講演会を開催します。

日 時：平成 22 年 7 月 11 日(日曜日)

午後 1 時 30 分より

場 所：ビッグハート出雲 白のホール

(JR 出雲市駅南口)

講 師：山本 譲司氏

演 題：塀の中の現実に見る日本の社会

～刑務所を福祉の代替施設にさせないために～

その他：入場無料



講師：山本 譲司氏

講師略歴：1962 年北海道札幌市生まれ、佐賀県育ち。早稲田大学卒。都議会議員を経て衆議院議員。2000 年 9 月に秘書給与詐取事件を起こし逮捕され、2001 年 6 月懲役 1 年 6 カ月の判決を受け服役。2003 年事件の反省と 433 日間の獄中生活を綴った『獄窓記』をポプラ社より出版。同著が新潮ドキュメント賞を受賞。TBS 系列にてテレビドラマ化される。出所後は都内の知的障がい者入所更生施設に支援スタッフとして通うかたわら、執筆活動、講演活動を行う。また、福祉関係者とともに、「障がいのある受刑者のシェルター」づくりに取り組む。

2006 年以降は、PFI 刑務所「播磨社会復帰促進センター」や「島根あさひ社会復帰促進センター」の計画立案・運営に携わる。

他の著書に『続獄窓記』（ポプラ社）、『累犯障害者』（新潮社）などがある。

主 催：特定非営利活動法人いずもサポートセンター

〒699-0811 出雲市湖陵町差海 1024-1

電話：0853-22-7190 Fax：0853-22-7191

E-mail: npo-isc@izumo-net.ne.jp

URL: <http://www.npo-isc.jp/>

共 催：出雲地区保護司会、出雲地区 BBS 会

